



西伊豆町

議会だより

第48号

2017年
3月定例会

西伊豆町立 賀茂小学校 卒業証書授与式



西伊豆町立賀茂小学校



持ち続けよう夢!

賀茂小学校卒業証書授与式

29年度は骨格予算

2

光BOX無償配布

4

役場の組織を一部変更

6

3月17日(金)に町内5つの小中学校で、卒業証書授与式が行われました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

骨格予算だが町民サービスに配慮

平成29年度
西伊豆町長

施政方針(抜粋)

29年度予算編成について

一般会計当初予算につきましては、来る4月16日に任期満了に伴う町長・町議会議員選挙が予定されていますことから、新規施策や政策経費については予算に計上することが適切でないと判断し、経常経費を中心とした骨格予算で編成しております。

しかし、骨格予算とはいうものの、新規事業や政策経費であっても、防災対策や健康福祉対策など緊急性の高い事業、国庫補助金や県補助金に関連する事業及び継続事業は、町民サービスの低下を招かないよう配慮し予算計上しております。

歳入歳出概観

歳入面におきましては、人口減少、観光客の減少、町内産業の低迷、地価下落の影響などにより税収が伸び悩んでおります。また、平成32年度には普通交付税の合併算定替えが終了するなど、更に厳しい財政状況が予想されるため、新たな財源を含めた収入確保に万全を期す所存であります。

歳出面におきましては、喫緊の課題である人口減少、防災対策、生活環境の充実、教育文化の振興、子育て支援、産業振興、地区要望への対応など、町民の視線に立った行政運営と、将来の西伊豆町を見据えた公共事業の実施、人口動向に伴う公共施設の統廃合や効率的活用を進めてまいります。

新たな経済効果

ふるさと納税制度による返礼品や感謝券事業は、地域の水産業、製造業、観光業、サービス業など、様々な分野に新たな経済効果をもたらしております。今後もふるさと納税の取り組みを推進し、町民と行政が協働するまちづくりを積極的に取り組んでいく所存であります。

大綱質疑

ふるさと納税の見解は

質問 ふるさと納税の返礼品に対する議論が高まっており、納税を持って行かれる自治体の反撃も予想されるが、この件の見解は。

町長 それらの事は心配していましたが、この制度がある限り、努力をしてできるだけ多くのふるさと納税をして頂く方針です。

ふるさと納税の推進とは

質問 去年、今年と10億円を超えたが、今年度は思った程伸びなかった。その中でふるさと納税推進を謳っているが具体的な展開は。

町長 これまでは町主体で宣伝などしてきましたが、今後は議員を含め、産業界の方々など町ぐるみで宣伝して頂いて推進していきたいと思っております。

教育長人事は

質問 今後、文教施設の統廃合は不可欠であり、教育長の果たす役割は大きい。5月で任期満了となるが、どうするのか。

町長 教育長は3月31日で辞任しますが、すぐに後任は決めないで、町長選挙後に決めたいと思っております。少し不在期間が生じますが、職務代理等で対応したいと考えています。

住民負担は増加するのか

質問 新たな財源が確保できない現状だが、住民負担を増やすことはないのか。

町長 介護、国保、水道は、事業をどう維持するかが課題となっています。事業維持する上で負担増しかないのであれば、住民の方に負担をお願いすることもあります。

新年度予算8.8%減(一般会計)

収入(歳入)

給料 (町税等)	9億3,199万0千円
実家からの仕送り (地方交付税)	21億6,000万0千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	5億9,231万9千円
貯金取り崩し (繰入金)	7億3,412万9千円
バイト代 (その他の収入)	8億7,106万2千円
借金 (町債)	2億3,050万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 55億2,000万円

支出(歳出)

生活費 (総務費)	7億2,498万7千円
年金・保険料等 (民生費)	10億6,675万0千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	6億5,469万7千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	2億7,221万1千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	5億4,081万2千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	3億0,732万1千円
消火器購入 (消防費)	3億2,387万6千円
学費仕送り (教育費)	4億2,732万4千円
ローン返済 (公債費)	5億5,405万3千円
区・町内会費 (議会費)	6,434万3千円
雑費 (諸支出金)	5億7,862万6千円
へそくり (予備費)	500万0千円

支出合計 55億2,000万円

(特別会計)

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	15億2,100万0千円	△1億1,200万0千円	△6.9
後期高齢者医療特別会計	2億9,380万0千円	600万0千円	2.1
介護保険事業特別会計	13億9,600万0千円	4,200万0千円	3.1
水道事業会計	4億8,839万9千円	4,491万2千円	10.1
温泉事業会計	9,749万9千円	518万3千円	5.6

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

光BOX無償

開催期間	2月28日から3月10日まで
審議した案件	町長提出議案 29件 修正動議 1件 議員発議 1件
可決した主な議案	平成29年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 課の再編に伴う条例改正 農業委員の任命10件 など

こんなことが、決まりました。

一般会計 (賛成9：反対1)

問 入湯税が減額計上されている。町としての観光客の増加対策は。

答 ふるさと納税感謝券が対策になっていると思います。

問 浦上八木線（安良里）改修工事の箇所と内容は。

答 浦上交差点から坂本交差点までの舗装工事と転落防止柵設置工事です。

問 公衆無線LANの整備箇所は、どこか。

答 避難所と観光施設を検討しています。

問 加速化交付金の終了によってアンテナショップが閉鎖とのことだが、それに代わるものはないか。

答 28年度に行った、アンテナショップ・商工会を通じたの中小企業販路開拓事業は無くなります。「美しい伊豆創造センター」がアンテナショップを開設し、共同で行います。

問 社協の運営補助金が昨年度比100万円減額されているが、要因は。

答 運営費は人件費となっています。事業費としていろいろな委託をしていますが、社協は基金を3,300万円程保有しているので、それを取り崩して活動していただくように考えています。

問 単位老連が次々に解散されているが、これからの在り方を町として指導できないか。

答 老人会には是非続けてほ

しいとのお願いはしていますが、難しい問題です。

問 配食サービスの委託金が減少しているが、要因は。

答 今までは、利用者の方が町に利用料を払っていましたが、29年度からは直接配食する企業へお支払していただくことになりました。町の事務的負担が減ることによって、1食30円の値下げも実施します。

問 防災行政無線の子局改修工事が計上されていない。デジタル化の準備に入るからか。

答 年2回の点検で指摘されている箇所の改修が終わるため、29年度は計上していません。デジタル化は29年度中にスケジュールを決めていきます。

配布

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 滞納繰越分が昨年に比べ減額計上されているが。

答 近年、徴収業務の成果として、滞納者が減っていますので、収入も減額計上しました。

問 特定健診を新たに20歳から39歳までの方も実施したいとのことだが、健診委託料が減額されているのはなぜか。

答 今までの受診率が40%程度でしたので、対象者が増えても、この予算で賄えるものと判断しています。

問 医療費通知を各家庭に送付しているが、受診していないのに、受診したとの通知が来たという報告はあるのか。

答 報告はありません。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 一般会計から職員2名分の繰入金がある。介護事業に力を入れたいと思えば、人件費として増額できると思うが、臨時職員ではなく、職員を増やす考えは。

◎光BOXは、パソコンをお持ちでない方もインターネットを楽しむことができます。また、町はホームページ・防災情報などを配信する予定です。

◎今回の配布は個人が対象ですが、今後、法人などへの配布も検討していきます。

◎早期の情報配信システムの構築が望まれます。

答 職員を増やさなければならぬほど負荷がかかっているとは思いません。他の課と連携して、対応できると思います。

問 家族介護慰労事業助成金が毎年計上されているが、該当者は。

答 介護認定5以上の方を家族が自宅で介護し、なおかつ1年間で1度も介護サービスを受けなかった方が対象となりますが、実績はありません。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

問 後期高齢者の被保険者数は前年同時期と比較すると29人の減少にもかかわらず、広域連合納付金は増額しているのはなぜか。

答 一人当たりの医療費が高いため、人数は減っていますが、金額としては増えるという形になります。

水道事業会計 (全員賛成)

問 一般会計から9千万円の借入金があるが、経緯は。

答 宇久須配水池耐震化工事のための借入です。借入の

是非は、県などに確認しました。30年度から10年間で償還する予定です。金融機関から借り入れた場合の試算では、最低でも143万円の利息がつきます。

問 宇久須配水池耐震化工事の施工管理委託料が、安良里赤地山配水池と比べて減額となったのは。

答 人件費、交通費などの経費節減のために、メールなどを利用して、工事定例会を必要最小限にするなどによるものです。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 検針用ハンディは、リースになっているが、購入との比較をしたのか。

答 比較をした結果、費用面でリースの方が有利と判断しました。

問 第二源泉（小田瀬）水中ポンプは、なぜ予備用が必要なのか。

答 各源泉とも予備ポンプを常備することになっています。昨年第二源泉のポンプが故障し、現在予備ポンプを使用しているためです。

**診療所医療整備基金条例
制定 (全員賛成)**

診療所の医療機器等の費用に充てるため、基金を設置するものです。

問 基金の使い方に法的な規制はあるのか。

答 規制があり、診療所の運営費用にのみ充当します。

**教育長の勤務時間等の
特例に関する条例制定
(全員賛成)**

**教育委員会の委員長と
教育長を、新「教育長」
に一本化 (全員賛成)**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、教育長の勤務時間、休日、休暇及び職務に専念する義務の特例について定めるものです。また、新「教育長」を設置するため、関係条例（4件）の整理をするものです。

**役場の組織を一部変更
(全員賛成)**

行政ニーズへの対応、組織の効率化を図るもので、業務内容の変更はありません。

- ◎企画課
(企画調整係・情報管理係)
- ◎健康福祉課
(医療保険係・福祉係・
介護保険係・健康係)
- ◎産業建設課
(建設係・農林水産係・
検査管理係)

**◎防災環境課
(防災安全対策係・
環境衛生係)**

問 改正の経緯と何回目の改正か。

答 仕事の円滑化と区分をはっきりさせたいもので、改正は私になって2回目です。

問 町長・町議の改選時期だが、4月にした理由は。

答 4月は定期異動の時期であり、新しい体制に備え働きやすい職場環境を作るためです。

問 防災課は町の重要な部署であり、なぜ環境課と一緒にするのか。

答 全てが重要な課です。2課は業務の関連があるので一緒にしました。

問 検査管理係が産業建設課に移るが、工事を施工管理する係と検査する係が一緒にの課になるのは、世間の常識から見ればおかしいのではないか。

答 従来も同じ役場の職員が施工管理し、検査してきたので、これからも検査に手抜きはないと考えます。

**職員の育児休業等に関する
条例改正 (全員賛成)**

地方公務員の育児休業等に関する法律などの改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲などを改正するものです。

**税条例等の一部を改正
する条例 (全員賛成)**

消費税の引き上げ（10%）延期に伴う地方税法の改正により、期間などを改正するものです。

**診療所設置条例の一部
改正 (全員賛成)**

安良里診療所の新設に伴い、住所などを変更するものです。

問 条例の施行日が4月1日だが、診療所の開院日は。

答 4月4日（火）を予定しています。

**静岡縣市町総合事務組合
規約の一部を変更
(全員賛成)**

**農業委員会委員の認定
農業者等の割合決定
(全員賛成)**

農業委員会委員の認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上にするものです。

**農業委員会の委員の任命
(全員賛成)**

5月16日から新農業委員になります。

- ・松田 貴宏氏（宇久須）
- ・服部 信一氏（宇久須）
- ・上松 茂樹氏（宇久須）
- ・藤井 恵氏（安良里）
- ・磯 清彦氏（田子）
- ・佐野 登氏（仁科）
- ・土屋 浩二氏（仁科）
- ・須田 美光氏（中）
- ・土屋 亘氏（大沢里）
- ・土屋 秀作氏（大沢里）

**一般会計補正予算
(第6号) (全員賛成)**

主な歳入として、普通地方交付税の確定により3億5,319万6千円、ふるさと応援寄付金1億円など。歳出として、国民健康保険会計への繰出金1億円、ふるさと納税特産品費5,000万円、公共施設解体基金1億5,000万円など、総額2億100万円を増額します。

問 ハザードマップ策定事業が翌年度になるが、策定のスケジュールは。

答 県による土砂災害特別警戒区域指定が遅れており、町は地区別の地域防災計画を策定中で、29年度中の策定を考えています。

問 クリーンセンター施設工事費3,000万円の減額理由と整備計画はあるのか。

答 整備計画に基づく機能検査の結果、空気圧縮機が利用可能なので不施工としました。

問 光BOXの配布目的と時期、方法は。

答 目的は、広報や防災関係などの情報配信を考えています。配布の時期と方法は、3月中旬から光回線の接続工事に合わせ、個人からの申請を受け付ける予定です。

問 情報を配信する専用アプリが開設されていない。補正予算・新年度予算にもシステム構築の予算が見受けられないが、情報配信は可

能なのか。

答 町のホームページ・災害情報の専用アプリを無料で開設する予定です。その他は、配信を進めながら、徐々に検討していきます。

問 インターネット利用者の状況と、光BOXを利用する世帯を把握しているか。

答 1,100世帯が利用しています。光BOXは1,000世帯を見込んでいます。

問 光BOXの法人への配布は。

答 検討します。

問 配布時期が3月下旬以降になる。まとめて購入する必要はなく、在庫が残らないようにすべきでは。

答 在庫にならないよう対応します。

**一般会計補正予算
(第6号) 修正案
(賛成5：反対5)
議長採決により否決**

<修正動議> 情報管理費の需用費で、光BOXを1,000台購入する1,000万円を、100万円に減額。

修正理由 光BOXの配布事業は、今後、町の情報テロップ・住民の安否確認等の活用にとって、重要な施策であることは理解している。ただ、そのシステムの詳細も決まらず、新年度予算(案)にも計上がされていない状況で、配布ありきの予算は賛成できない。最低限必要であろう金額まで減額する

ものです。

反対討論 光BOXを大量購入することで、購入費が安く済むものと理解している。安く購入できる時期を逸すると、その恩恵にも得られなくなるので、修正動議に反対。

賛成討論 この事業の推進には大いに賛成するが、町が発信する広報の内容が確定しておらず、PR不足もある。事業費の多くが繰越となるが、新年度補正予算で対応が可能であり、修正動議に賛成。

**国民健康保険特別会計
補正予算(第3号)
(全員賛成)**

被保険者の減などによる保険給付費の減が主です。

問 一般会計からの1億円の繰入金と、基金積立金とするが、今後の見通しは。

答 現在の状況が推移すれば、35年までは基金取り崩しでやりくりできますが、それ以降厳しくなります。

**後期高齢者医療特別会計
補正予算(第1号)
(全員賛成)**

年度末による事業の決算見込みにより予算額を整理。

**介護保険事業特別会計
補正予算(第3号)
(全員賛成)**

地域密着型介護サービス給付費の増などが主です。

第1回臨時会

平成29年2月17日

西伊豆町安良里診療所 新築移転工事の変更

(賛成8：反対2)

浄化槽の土留工追加、地盤改良、レントゲン・CT室の放射線遮蔽板の鉛厚、配線ピット及び給水・給湯設備を変更するものです。

問 放射線遮蔽板の鉛厚は、設計時点で分からなかったのか。打ち合せ不足では。

答 当初設計は標準的な放射線シーベルトを基準に1.5mmとしましたが、CTなど機種選定の際に使用頻度などを勘案し、医療機器メーカーに確認したところ、規定により2mm必要とされ、変更するものです。

問 地盤改良は、昨年6月定例会時に、田子診療所と比べて270万円増との説明があった。今回、更に追加が

必要となった経緯は。

答 当初は第2分団詰所中央部で地質調査を行い、診療所もその結果を受け、100kgで大丈夫と判断しました。発注後、改めて調査したところ、設計強度を得るためには50kgのセメントの追加が必要との結果が出ました。

問 十分な設計委託料を払っているのに変更が多い。今後は、もっとチェックをする必要があるのでは。

答 今後、利用者・設計者・施工者との協議を十分にしていきたいと思います。

反対討論 基本設計の段階で打ち合わせが不十分。発生した追加工事費は、設計者が支払うべきと考え反対。

田子安良里線改修工事 変更

(全員賛成)

アスファルト舗装工、アスカーブ設置工、アスファルト殻などの数量変更、発生土量及び土砂運搬距離の変更、交通誘導員の数量変更などによ

り増額するものです。

問 アスファルト殻の変更の発生原因は。

答 改修計画に際し、※CBR試験を行い、標準的な厚み5cmを確認しました。部分的に何回も表層工を行った箇所があり、厚みが増していました。

問 表層工5cmで持つと考えていいのか。

答 今の交通量、大型車の通行量から、標準的な5cmで大丈夫という計算結果が出ています。

(※CBR試験とは、アスファルト舗装厚を決定するための地盤試験です。)

消防団第2分団詰所 新築移転工事の変更

(全員賛成)

中田水源改修工事及び送水管敷設の追加、浄化槽の土留工の追加、側溝の施工延長及び規格などの変更です。

問 中田水源改修工事の追加と消防団第2分団詰所新築工事との因果関係は。

答 緊急時の避難地(予定)でもあり、水源確保として敷地内までの専用管を敷設します。

教育長も特別職報酬等の 審議対象になります

(全員賛成)

地方教育行政の組織及び、運営に関する法律が改正され、教育長が常勤の特別職となったことによる改正です。



過去に何回も表層工が行われた箇所(通称浮島トンネル田子側)

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	山本智之	芹澤孝	高橋敬治	加藤勇	山田昭男	山田厚司	西島繁樹	星野淨晋	堤和夫	山本榮	増山勇	議決結果
第1回臨時会	28年度 安良里診療所新築工事請負契約の変更 [133万3,800円増額]	○	○	×	○	×	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 (町)田子安良里線改修工事請負契約の変更 [231万4,440円増額]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 消防団第2分団詰所新築工事請負契約の変更 [168万5,880円増額]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	特別職報酬等審議会条例の一部を改正 [対象に教育長を追加するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
3月定例会	診療所医療整備基金条例の制定 [医療機器等の整備・管理をするための財源として基金を設置するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	教育長の勤務時間等の特例に関する条例の制定 [勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例を定めるもの]	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	可決
	新教育長体制に伴う関係条例の整理 [法改正に伴い、新「教育長」設置のため改正等をするもの]	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	可決
	課等設置条例の一部を改正 [役場の組織を一部変更するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正 [育児休業等の対象範囲等を改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	税条例等の一部を改正 [消費税の引き上げ延期に伴い改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	診療所設置条例の一部を改正 [安良里診療所新設に伴い改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	静岡市町総合事務組合規約の一部を改正 [構成団体の変更に伴うもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 一般会計補正予算(第6号)修正案 [町の補正予算案から900万円を減額するもの]	×	×	○	○	○	×	×	○	—	×	○	否決※
	28年度 一般会計補正予算(第6号) [2億100万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [2,350千円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決	
28年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [780万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決	
28年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号) [192万7千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決	

※28年度一般会計補正予算(第6号)修正案は、可否同数のため議長採決で否決されました。

議案の議決結果 (つづき)

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	山本智之	芹澤孝	高橋敬治	加藤勇	山田昭男	山田厚司	西島繁樹	星野浄晋	堤和夫	山本榮	増山勇	議決結果
3 月 定 例 会	29年度 一般会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可決
	29年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	29年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	29年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	29年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	29年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	農業委員会の委員に占める認定農業者等の割合 [4分の1以上とするもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	同意
	農業委員会委員の任命 (10名)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	同意
	議会委員会条例の一部を改正 [新「教育長」、町の組織変更によるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決

議長（堤和夫）は採決に加わりません。

議会の動き

介護認定者は減少、でも・・・

第1常任委員会は、2月24日に健康増進課の所管事務調査を実施しました。

29年度から要支援1・2の方々の訪問介護・通所介護が、新しい介護予防・日常生活支援総合事業に移行されるにあたっての説明と、認知症総合支援事業についても説明を受けました。

介護認定者の人数は減少傾向にあるものの、一人当たりの介護度が高いため、全体での介護給付費の減少には至らず、介護保険の負担は上げ止まらない状況にあります。国は「地域支え合い推進員」の配置や、自治会・ボランティア・NPOなどを活用し、生活支援・介護予防

の推進に力を入れ、介護度が進まないように、予防に力点を置いた方針になってきています。

認知症総合支援事業では、現在、介護認定者859人の内、617人が何らかの認知症の症状があるという現状に加え、平成24年には高齢者7人に1人が認知症と推計されていたものが、平成37年には5人に1人となるであろうとの試算を見据えて、初期段階での認知症サポートの実施や、本人・家族からの相談事業など、専門職や地域が連携したサポート体制を構築するとの説明を受けました。

誰もが年を取りますので、元気で長生きができる体制づくりが、急務です。

第1常任委員長 星野 浄晋

西伊豆町安良里診療所新築工事・消防団第2分団詰所新築工事などを現地視察

第2常任委員会は、2月21日に産業建設課の所管事務調査を実施しました。28年度に執行された工事箇所の現地視察を行いました。

西伊豆町安良里診療所新築工事・消防団第2分団詰所新築工事(安良里地区)

津波浸水区域内にあった安良里診療所、消防団第2分団詰所の新築、移転工事です。新しい診療所には、CT検査設備などの最新機器が備わり、新しい詰所は、災害時の拠点施設としての機能を併せ持ち、2階に100人ほどが避難できる構造になっています。



西伊豆町安良里診療所新築工事



西伊豆町消防団第2分団詰所新築工事



防災・安全交付金事業 (町) 田子安良里線改修工事

防災・安全交付金事業 (町) 田子安良里線改修工事 (田子地区)

防災・安全交付金事業は、地域住民の暮らしを守る道路や橋梁などの老朽化対策、市街地の安全性向上のための事業です。経年劣化により整備の必要性を確認したため、従前より改修工事を行っています。今回は3工区に分け実施しました。

(町) 黄金崎柴線改修工事 (宇久須地区)

老朽化が著しい町道黄金崎柴線において、ずり落ちてしまった路肩などを改修しました。全長で38.3mの工事で、舗装の他、転落防止柵などを設置しました。

3月10日に星野浄晋議員が議員辞職願を提出し、同日議長が許可しました。



(町) 黄金崎柴線改修工事



高橋 敬治 議員

今回の消火活動での課題は

(町長) 水利の確保と交通整理

質問 1月31日に宇久須で発生した住宅火災における消火活動での課題は。

町長 水利の確保と交通整理です。

質問 地元消防団への出動要請が遅かったのでは。

町長 「地元消防団は放送による出動だけでなく、火災発生を知った時点で、自分たちの判断で出動する事もできる」と改めて伝えます。

質問 水利不足の中、近くにある防火水槽を使用しなかった理由は。

企画防災課長 取り壊し予定の施設であり、急激な水位低下で地盤が崩れる可能性などを考慮しました。

質問 消火栓を複数使用し、配水池の水位が下がると、緊急遮断弁が作動するのか。

企業課長 水位低下だけでは作動しません。震度が5以上で作動します。

質問 生コン車の要請が遅れたのは費用負担を考えたか。

町長 現場で新たな水利の確保が必要ならば、要請する

のは当たり前なので、生コン会社と契約を結びます。

質問 生コン会社から現場誘導が不十分と指摘があるが。

企画防災課長 交通整理は今回の課題であり、改めて警察署にもお願いをします。

質問 ここ10年で防火水槽の新設は1箇所しかない。地区から要望も出ているはずだが設置個所の見直しは。

町長 今回の反省で、水道水だけでは足りないことも想定し、安良里・宇久須地区は川の中に防火水槽を設け、水道水と併用する事などを検討しています。

火災警報器設置の補助は

今は考えていません

質問 住宅用火災警報器の設置は消防法で義務付けられているが、町内の設置率は。

町長 全体では把握していません。

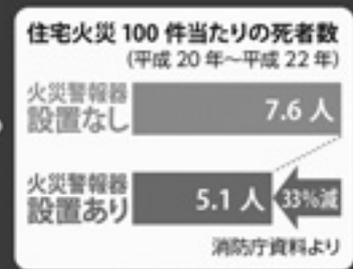
質問 住宅火災死亡者の約7割は高齢者で、設置すれば死者や被害は半減すると言われている。機器購入の補助や、高齢者のみの世帯に無償取付けはできないか。

企画防災課長 今は考えていません。

「まさか！」の火事。

火災警報器で助かる命があります。

火事は決して他人事ではなく、どこの家庭にでも起こりうることです。万が一の時でも、火災警報器があればいち早く火災を知らせてくれます。



取り付けましたか？設置は義務です！

津波避難困難地域の対策は

(町長) 命山は場所があれば



芹澤 孝 議員

質問 大地震による大津波が発生した場合、※津波避難困難地域の方は、自分の力で避難できる限界を超えている。津波避難タワー・避難ビルの建設、新規指定などを行う必要があるのではないか。

町長 避難タワーは何年か経つと大変な維持管理が必要になると思いますし、止めた所もたくさんあると聞いています。しかし、命山については、場所があれば考えていかなければならないと思っています。

質問 現状では津波避難困難地域の方は、逃げ切るのが厳しい状況なので、救命胴衣とヘルメットを支給してはどうか。

町長 救命胴衣の件は、以前の答弁内容を確認し、どうするか皆さんと考えていきたいと思っています。

(※津波避難困難地域とは、津波到達時間までに、津波浸水区域から安全な場所に避難することが困難な地域)

下水管の津波逆流防止は津波防災事業の進捗で

質問 港に通じる下水管に、津波の逆流防止の措置を講じていないのは何箇所か。

町長 仁科・田子・安良里地区で13箇所です。(宇久須港湾は県管理です。)

質問 対策の予定は。

産業建設課長 現在実施している津波防災ステーション事業の進捗を見ながら、逆流防止のフラップゲート未整備箇所の事業化を検討していきたいと思っています。

御神川の砂防堰堤は28年度に地形測量

質問 平成25年7月の集中豪雨により大きな被害を受けた田子御神川は、県に砂防^{えんてい}堰堤の要望をしたが、どうなったのか。

産業建設課長 県は、28年度中に砂防事業の地形測量を実施しています。29年度には、事業用地の所有者の承諾を得ていきたいと考えています。承諾が得られ次第、国へ事業認可申請するとの事です。



袋井市役所提供写真

袋井市中新田地区の命山



山田厚司 議員

健康寿命の延伸は

(町長) 県と同様に取り組む

質問 健康寿命の延伸を、国・県では重要視しているが、町の対応は。

町長 県と同様に、健康寿命を伸ばすことに取り組んでいきたいと思えます。

質問 県が健康寿命を伸ばすために考案した「ふじ33プログラム」の推進状況は。

町長 65歳以上の人を対象に「シニア版ふじ33プログラム」を26年度から実施し、28年度は介護予防としても開催しました。今後も浸透を図っていきます。

質問 高齢者の4分の1が認知症やその予備軍ともいわれているが、見守り活動や日常生活支援体制づくりを推進すべきでは。

町長 地域で広く支える仕組みは理想だと思えます。どのようにしたら構築できるのか、苦慮しています。

質問 地域での居場所づくりが、見守り活動に繋がると聞くので、推進しては。

健康増進課長 現在町内に6箇所サロンがあります。今

後の制度改正に備え、体制づくりを検討したいです。

質問 地域高齢者のニーズに応える仕組みを構築していくため、その担い手となるボランティアの育成は。

町長 国際ボランティア学生協会（IVUSA）とも連携・協力しています。その中で協議をし、まちづくり協議会、中学生、高校生と一緒に人材づくりを進めていきたいです。

社団法人化による変化は

業務内容は変わらない

質問 「美しい伊豆創造センター」の観光部門が一般社団法人化されたことによる今後の変化は。

町長 業務内容は変わりません。

質問 「生涯活躍のまち」構想を基本に「伊豆半島生涯活躍のまちづくり推進協議会」が発足したが対応は。また、構想が合わないとは判断した場合は。

町長 協議会や検討会が始まったばかりで、これからモデル事業の検討をする予定です。構想が合わない場合は、今後の検討課題だと思っています。



元気はつらつ健康寿命を伸ばしましょう!!

次期総合計画は

(町長) 考えていません



増山 勇 議員

質問 合併時に策定された第1次総合計画（10年間）が終了している。再三質問してきたが、次なる総合計画の策定に対する考えは。

町長 過疎計画や総合戦略で事足りています。策定することは考えていません。

質問 それでは、10年後の町の姿が見えない。町長自身の場当たりの行政では。

町長 私はそうは考えません。課長会議で検討しました。

プロジェクトチームの活動は

ボランティアで

質問 若手職員17名での“将来を考えるプロジェクトチーム”の活動は。

町長 これからの財政について考えてもらい、全職員に報告会をするように指示しています。あくまでもボランティアで活動してもらっています。

質問 これは業務ではないのか。位置付けや残業代も配慮するべきではないか。

町長 今のところは、ボランティアで考えています。

避難タワーを造らないのは 自主防災会は了解

質問 前回の町長選出馬時に、伊豆新聞の防災対策のアンケートに対し回答した内容を覚えているか。

町長 記憶にありません。

質問 防災については、第4次被害想定が決定してから住民と話し合い、津波避難タワーや救命具の配布などを検討したいと答えている。この4年間で津波避難タワー

が、建設されていないのはなぜか。

町長 自主防災会議や区長会議などで津波避難タワーを造らないと説明し、了解を得られたと思っています。

ふるさと納税の使い方は

返礼品で地元産業に貢献

質問 ふるさと納税は、今年度も10億円に達しているが、町民に対して有効な使い方をしては。

町長 返礼品で地元産業に大変貢献しています。



3月に行われた総合戦略策定会議

わが町のジオサイト

白岩山岩窟壁画



乗浜山の裾、小さな洞窟の壁に7体の仏像が描かれています。海底火山の火山灰と軽石でできた白く柔らかい地層に線刻されています。

格子扉越しに目を凝らすと、中央に須弥壇しゅみだんがあり本尊を中心に右に2体、左に4体の仏像が見えてきます。いずれも西伊豆の夕陽かと思わせるほどの真っ赤な光背を背負っています。

ここは1233年に建立された天福寺の跡地とされていますが、度重なる自然災害により、現在では寺川に東福寺と名を変えて再建されています。ここには岩窟壁画だけが残されていて、浜連合区により大切に管理されています。

町内探訪 22

浦上地蔵花の会 (安良里)



代表 鈴木 由紀子さん
(一色在住)

10年前からボランティアで、お地蔵様や花壇の管理、花見の会などを行っている、浦上地蔵花の会の鈴木代表にお話を伺いました。

質問 会を始めたきっかけは。
鈴木さん 老人会の方々がお地蔵様の管理をしていましたが、高齢になり人数も減ったため、その管理と周辺花壇の植栽を引継ぎました。

質問 現在のメンバーは。
鈴木さん 60代から70代の男性4名、女性5名です。

質問 活動内容は。
鈴木さん 年間を通して花が楽しめるように年2回の植栽と、毎月第1木曜日に手入れをしています。

去年は、花壇周辺にあるソメイヨシノの開花に合わせて「お花見の会」を開催し、約150名の方々が集まりました。

まちづくり協議会の発表会では、植栽が立体的に見えるパネル仕様のフラワーアートを制作・展示しました。

地域のわらを使った「正月飾り作り」も行っています。

質問 活動への思いは。

鈴木さん 活動には地域の方々の応援をいただき助かっています。この活動を知ってもらうことで、地元の文化を知り、まちづくり・ふるさとの活性化に繋がれば幸いです。この会への参加もお待ちしております。

[取材 加藤・高橋]

平成29年4月3日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962